

**平成 27 年度建設コンサルタント等業務に係る
実施方針のポイント**

**国土交通省関東地方整備局港湾空港部
品質確保室
問合せ先 [TEL 045-211-7424]**

平成27年度建設コンサルタント等業務の実施方針のポイント

1) 入札契約方式の選定

当該業務に必要とされる知識及び構想力・応用力に応じて、原則、プロポーザル方式又は総合評価落札方式の何れかを選定する。

2) プロポーザル方式

- ①当該業務内容が技術的に高度、又は専門的技術が要求される業務で、提出された技術提案に基き、仕様を作成するほうが最も優れた成果を期待できる業務に適用。
- ②平成25年度に引き続き拡大型プロポーザル方式を試行。

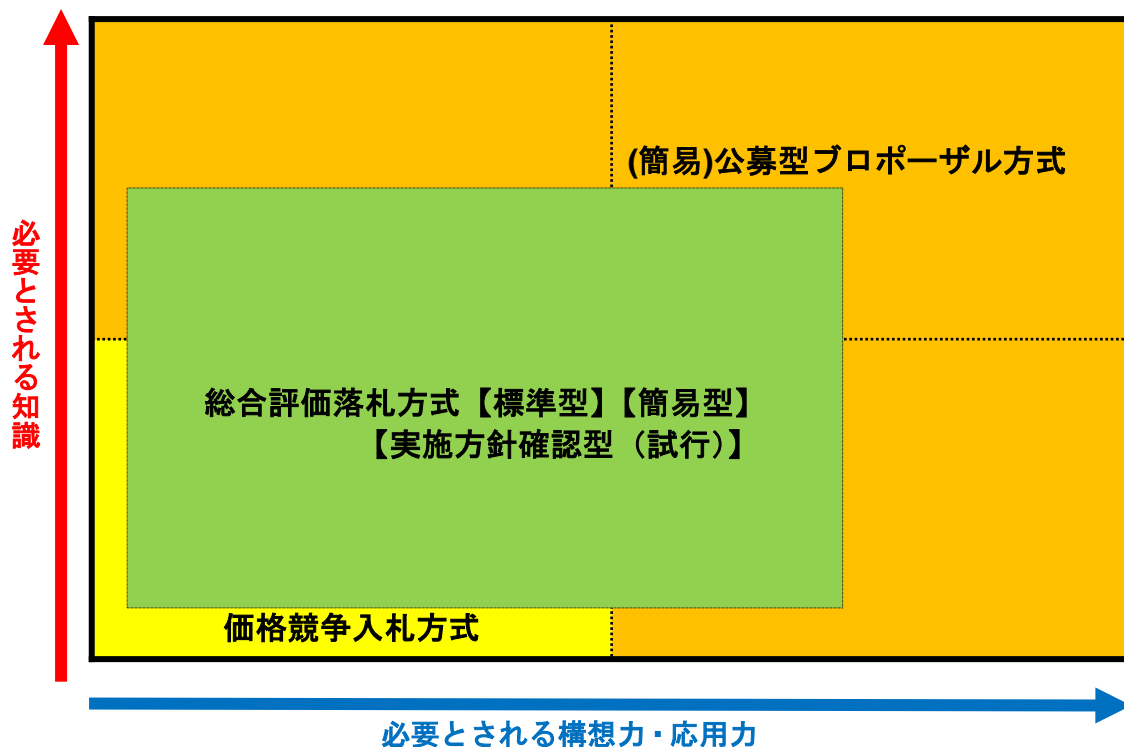
3) 総合評価落札方式

- ①価格及び技術が最も有利な条件で申込んだ者を契約の相手方とする。
- ②一般競争入札、(簡易)公募型競争入札の何れも適用可能。
- ③業者ヒヤリングは、標準型では原則実施、簡易型では原則省略、実施方針確認型では実施方針の『確認』のみとなる為、非実施。

4) 価格競争入札方式

- ①案件の内容、発注ロットが小さい事を十分精査し、価格競争入札方式を適用する事で足りるとの整理が確実に出来る業務についてのみ、適用可能。
- ②一定の資格実績・成績等を有することを入札条件として最低限の品質を確保する。

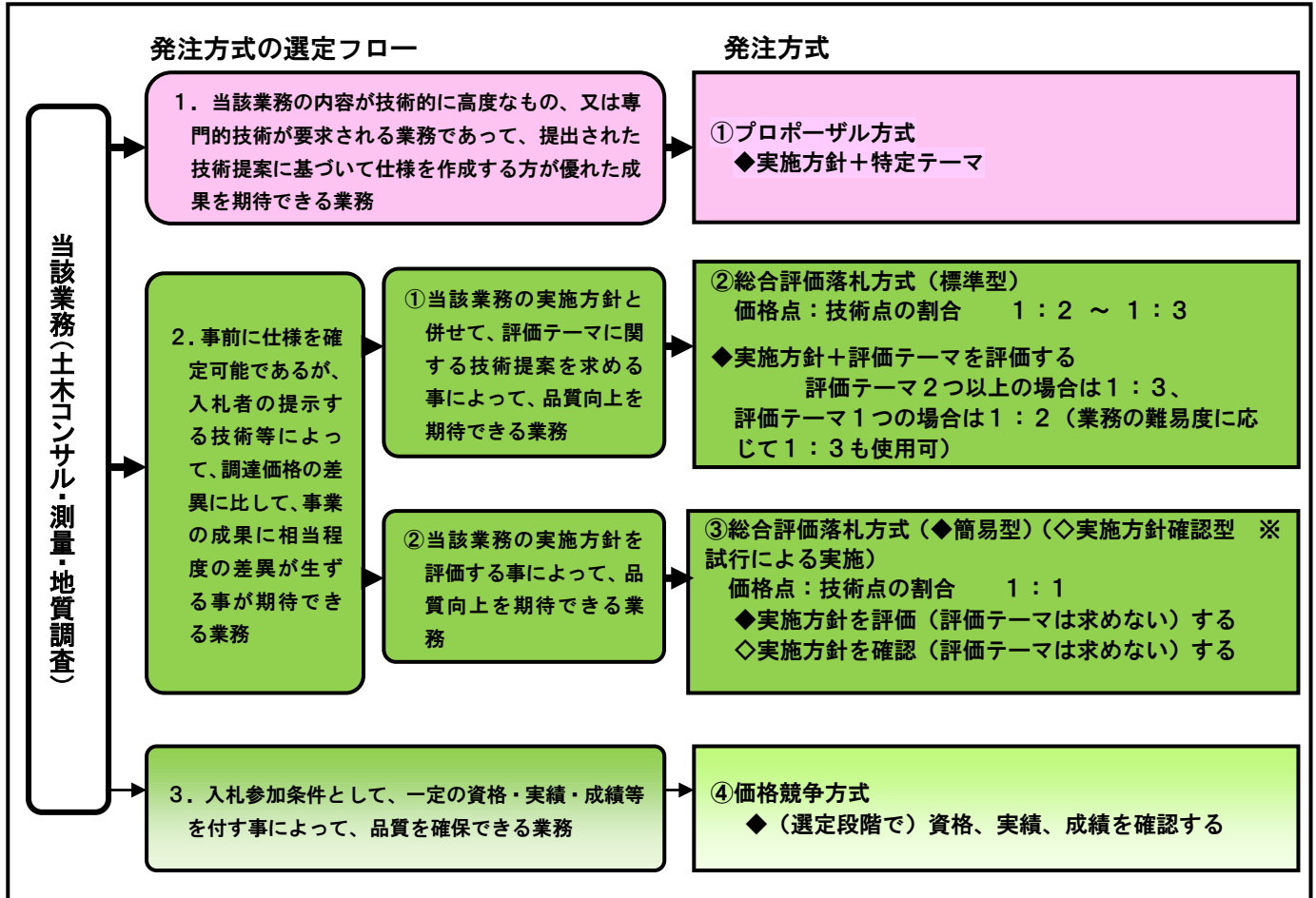
【標準的な業務内容に応じた入札・契約方式の選定】



5) 適用ルール

建設コンサルタント業務等には、単純な作業により実施可能な業務から最先端の工学的知見を更に応用しなければ成果が得られない業務まで、極めて多岐にわたる業務が含まれるため、個々の業務内容に応じて適切な調達（発注）方式を選定する。（以下参照）

6) 発注方式選定フロー



7) 履行確実性評価の拡大

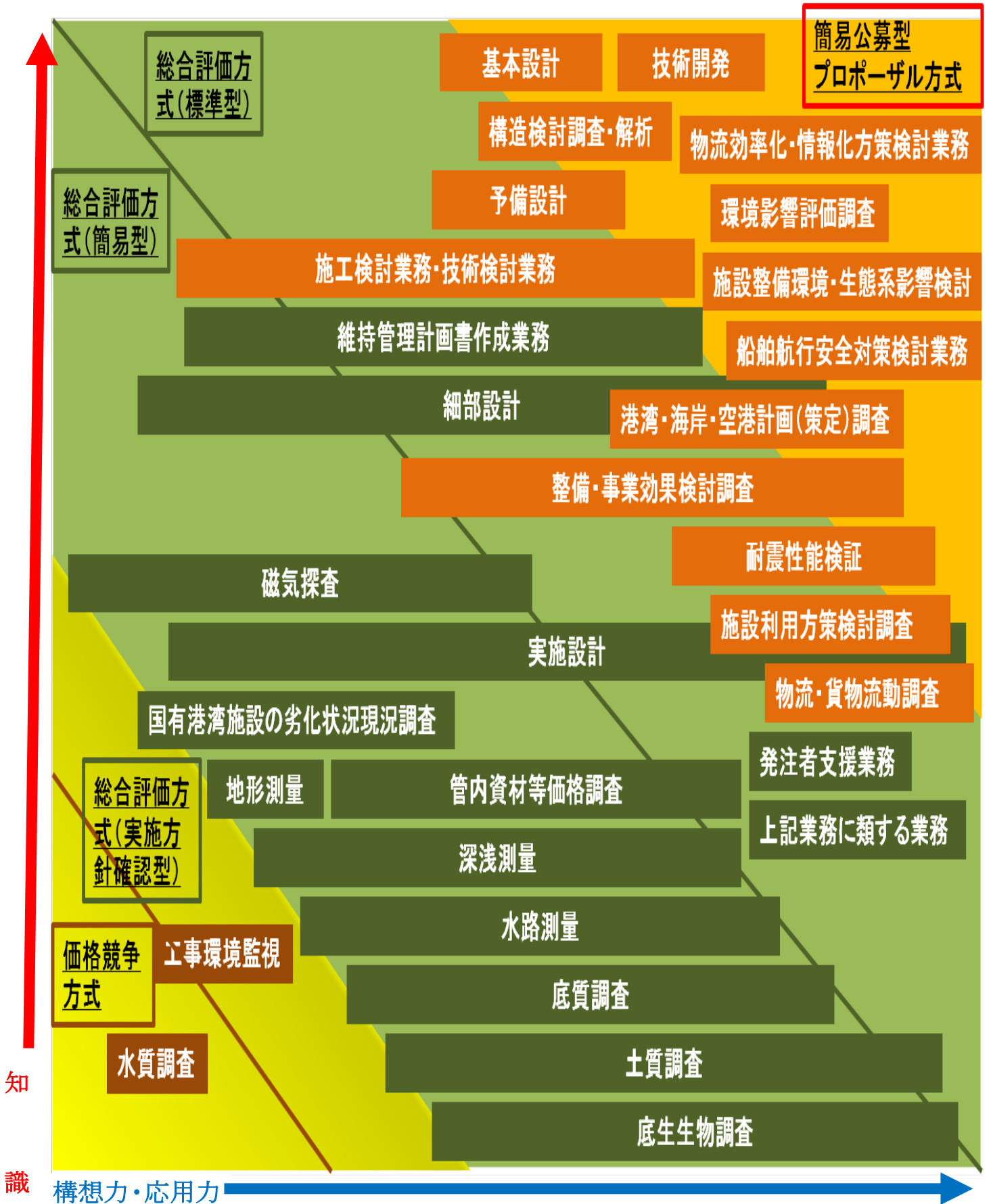
【概要】低入札業務では、業務成績評点が低評価となる傾向があり、技術提案した内容が適正に履行されない恐れがある事から、技術提案の確実な履行の確保を厳格に評価する為、技術提案の評価項目として、「履行確実性」を加えて技術評価を行う試行を実施する。

【対象業務】平成27年度より総合評価落札方式により調達される予定価格が **100万円超（建設コンサルタント、測量・調査業務共に対象）** の業務に試行拡大する。

【審査の視点】『業務内容に対応した費用が計上されているか』、『配置予定技術者に適正な報酬が支払われることになっているか』、『品質管理体制が確保されているか』、『再委託先への支払いは適正か』

【審査内容】『直接人件費、直接経費、技術経費、諸経費等が必要額を確保しているか』、『配置予定技術者への適正な報酬の支払いが確保されているか。配置予定技術者の人工が適正であるか』、『照査予定技術者への適正な報酬の支払いが確保されているか。照査予定技術者の人工は適正であるか』、『再委託業務内容を再委託先が確認しているか』

8) 契約方式の選定方法・分類



プロポ・総合評価 選定時の配点比率

企業		技術者	
資格・実績	成績・表彰	資格・実績	成績・表彰
50%		50%	
15%	35%	15%	35%

プロポ特定時の配点比率

技術者		特定テーマ	
資格・実績	成績・表彰	実施方針	特定テーマ
25%		75%	
10%	15%	25%	50%

総合評価 評価時の配点比率

	技術者		評価テーマ	
	資格・実績	成績・表彰	実施方針	評価テーマ
1:3	25%		75%	
	10%	15%	25%	50%
1:2	33%		67%	
	15%	18%	30%	37%
1:1	50%		50%	
	25%	25%	50%	—